

## 発行にあたって

小学校の理科教育では、子供が身近な自然を対象として見通しをもって観察・実験などを行うことにより、自然を追究する能力や態度、自然についての認識を形成していくことに特徴があります。問題解決の活動を通して、自然について感じ、考え、自然の性質や規則性について実感することにより、自然を愛する心情や問題解決能力、科学的な見方や考え方が育つようにすることが大切です。

当センター理科教育担当は、平成15～17年度の3年間をかけて、小学校理科において、より一層主体的な問題解決の活動をするための具体的方法、その導入・展開例などを開発、提案する目的で、「小学校理科における探究的な活動を促す観察・実験について」の研究を行ってまいりました。県内小学校の4人の研究協力員による授業実践では、興味・関心をもち、問題を意識して主体的に取り組む子供の姿が見られ、問題解決のための十分な時間と場面を効果的に設定していくことの大切さを改めて実感いたしました。

この冊子には、研究成果以外にも基本的な観察・実験のポイントや「発展的な学習」の具体的方法も掲載いたしました。静岡県版カリキュラムとともに理科の授業の中で活用していただき、授業が一層、魅力あるものになることを期待しております。また、本書についての御意見や御感想は理科教育担当までいただければ幸いです。

最後になりましたが、研究を進めるにあたって、御協力をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

平成18年3月

静岡県総合教育センター所長 天野 龍生